

# STUNの状態に関する定義

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[STUNの状態](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、show stun コマンドの出力の State フィールドの値を定義します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## STUNの状態

Stateフィールドには、2つのシリアルトンネル(STUN)ピアルータ間の接続のステータスが表示されます。[State]フィールドには、次のいずれかの値を指定できます。

- dead : 開こうとしていますが、失敗しています ( または接続が切断されました ) 。
- closed : アクティビティなし。
- opening : 開こうとしていて、接続を待っています。
- openwait : 開いて接続を待っています。
- open : 完全に接続され、STUNデータを交換できます。
- direct : 同じボックス内の2つのポート間の直接接続。これらの間の接続状態を考慮する必要

はありません。

注：STUNピア接続は、トンネルを通過するある場合にのみ開かれ、それ以外の場合は閉じられたまま。この動作は、データリンクスイッチング(DLSw)とは異なり、ピア間でIP接続が確立するとすぐにピアが接続なってしまいます。

## [関連情報](#)

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)